



DX人材開発支援助成金のご紹介





DX推進人材開発支援助成金とは

新規事業展開やDX推進等の人材育成向け助成金 “人材開発支援助成金” 企業のDX人材不足、スキル不足を解決するために生まれた助成金

あらゆる業界においてITを活用したDX化を推進をする中で人材不足、スキル不足の課題に対してDX推進人材を育成する為の助成金として2022年12月に創成された期間限定の新たな助成金制度。

令和5年度予算 「人材の育成・活性化」に1,138億円を計上

人材開発助成金658億円のうちリスキリング支援コース 505億円

DX等の人材を育成する為に必要な教育訓練を受講させその**受講に掛かる費用の一部を助成**する制度。
この制度を活用してe-Learningやオンラインコンテンツなどで学習しDX人材を育成し本業のDX化推進に取り組むことが可能となります。

事業展開等リスキリング支援コースとは

新規事業の立ち上げなどの事業展開に伴い、事業主が雇用する労働者に対して新たな分野で必要となる知識及び技能を習得させるための訓練を計画に沿って実施した場合等に **訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成**します。

例

- ・ITツールの活用や電子契約システムを導入し、社内のペーパーレス化を進めたアプリを開発し顧客が待ち時間を見えるようにした
- ・顔認証やQRコードなどによるチェックインサービスを導入し手続きを簡略化した等



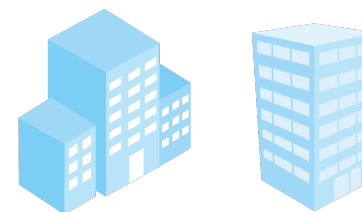


助成金支給対象の範囲

中小企業事業主

中小企業事業主に該当するかどうかの判断は、主たる事業」ごとに「**A 資本金の額または出資の総額**」または「**B 企業全体で常時雇用する労働者の数**」によって行い、A、Bどちらかの基準に該当すれば、中小企業事業主となります。ただし、以下の例のような資本金等を持たない事業主は「B 企業全体で常時雇用する労働者の数」によって判断します。

主たる事業	A 資本金の額または出資の総額	B 企業全体で常時雇用する労働者の数
小売業 (飲食店を含む)	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
その他の業種	3億円以下	300人以下



助成率・助成額

①助成率・助成限度額 ②受講者1人あたりの経費助成限度額

経費助成率		10時間以上100時間未満	
中小企業	大企業	中小企業	大企業
75%	60%	30万円	20万円



支給に関する制限

- 訓練等受講回数の制限：助成対象となる訓練等の受講回数の上限は、1労働者につき1年度で3回までです。
- 1事業所の支給額の制限：1事業所が1年度*に受給できる助成額は最大1億円

※支給申請を基準とし、4月1日から翌年3月31日まで



助成金支給対象者と要件

新規事業展開やDX推進等の人材育成に「人材開発支援助成金」が活用できます

人材開発支援助成金は、事業主が雇用する労働者に対して訓練を実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度です。「事業展開等リスキリング支援コース」では、新たな事業の立ち上げなど事業展開等に伴い必要となる知識および技術を習得させるための訓練を助成の対象にしています。

訓練対象者

- 申請事業主における被保険者

基本要件

- 実訓練時間数が10時間以上 ※であること
- 事業主において企業内のデジタル・デジタルトランスフォーメーション(DX)化やグリーン・カーボンニュートラル化を進める場合にこれに関連する業務に従事させる上で必要となる専門的な知識及び技能の習得をさせるための訓練

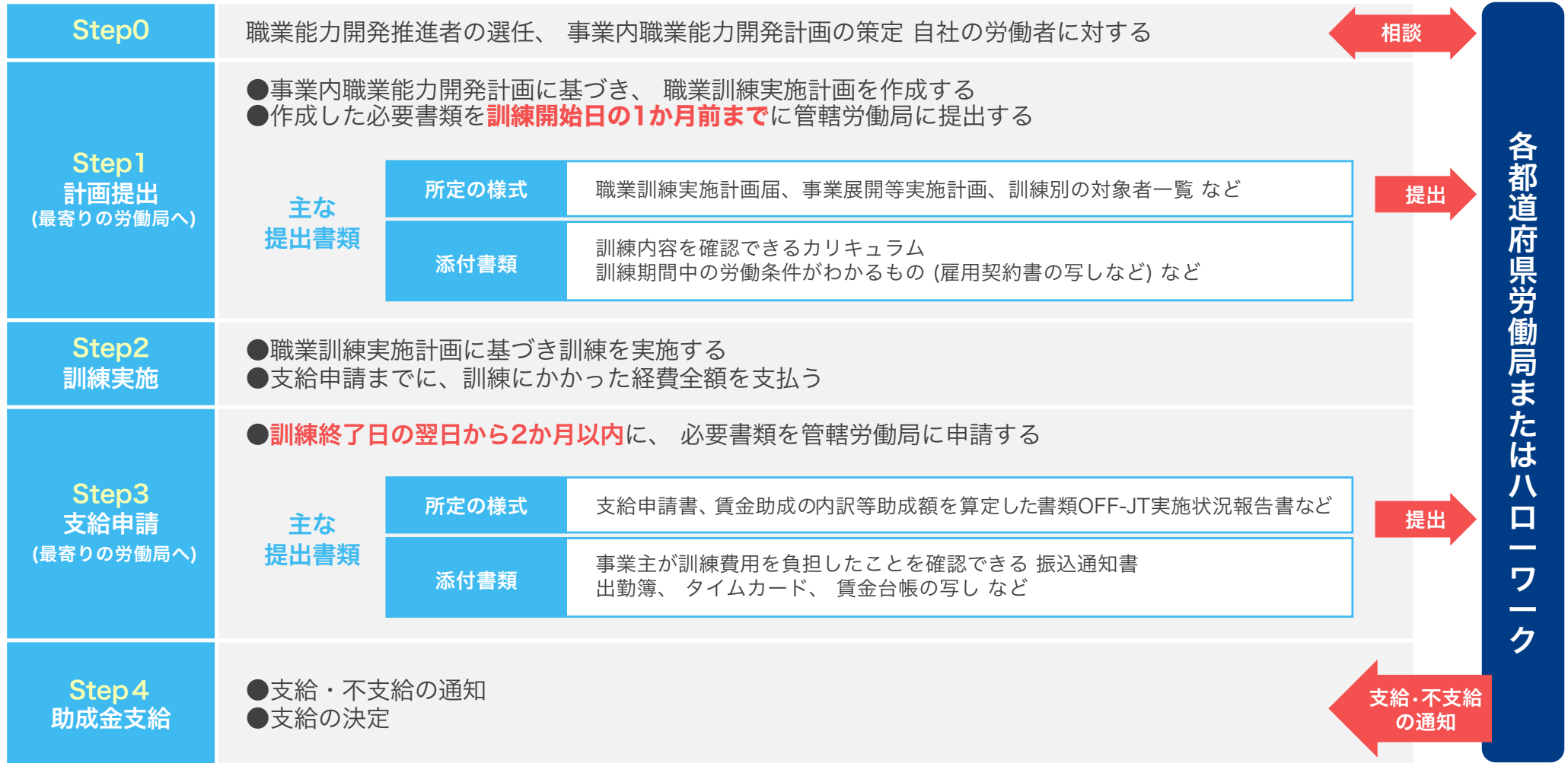
※ eラーニングによる訓練等及び通信制による訓練等については、標準学習時間が10時間以上または標準学習期間が1か月以上であること。

[参考] 事業展開の例: 新商品や新サービスの開発、製造、提供または販売を開始する等
デジタルDX化の例: ITツールの活用や電子契約システムを導入し、社内のペーパーレス化を進めた等
グリーン・カーボンニュートラル化の例: 農薬の散布にトラクターを使用していたが、ドローンを導入した等





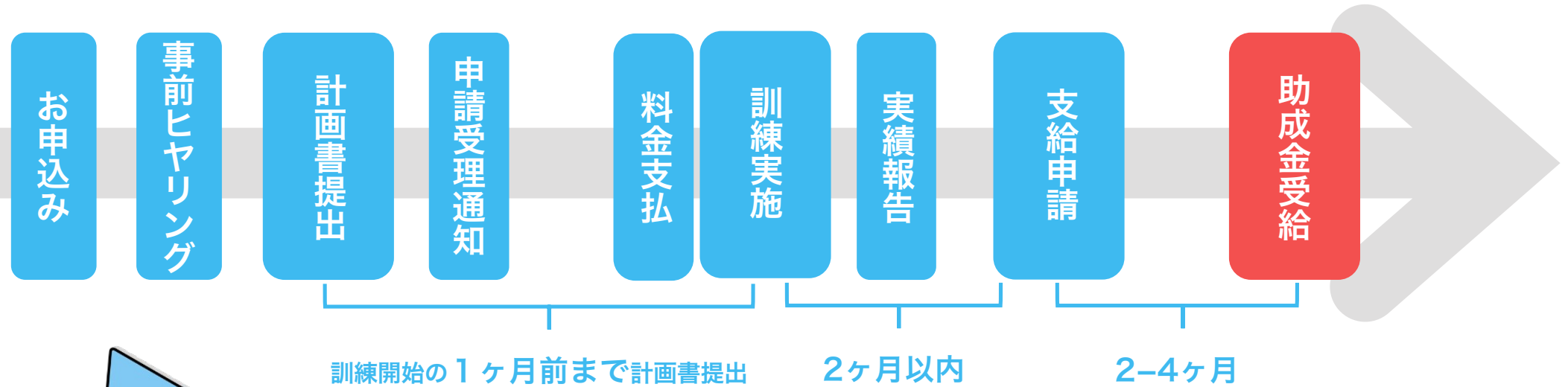
助成金受給のための手続きの流れ





申請手続きの流れ

訓練（研修）実施フロー



実績報告から約2-4ヶ月で助成金受給





事業金額と助成金早見表



事業金額



対象従業員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1回	40万円	80万円	120万円	160万円	200万円	240万円	280万円	320万円	360万円	400万円
2回	80万円	160万円	240万円	320万円	400万円	480万円	560万円	640万円	720万円	800万円
3回	120万円	240万円	360万円	480万円	600万円	720万円	840万円	960万円	1080万円	1200万円



助成金支給額



対象従業員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1回	30万円	60万円	90万円	120万円	150万円	180万円	210万円	240万円	270万円	300万円
2回	60万円	120万円	180万円	240万円	300万円	360万円	420万円	480万円	540万円	600万円
3回	90万円	180万円	270万円	360万円	450万円	540万円	630万円	720万円	810万円	900万円



訓練について

1人1訓練あたり**最短で10時間**の受講が必要ですが、予習復習を含めての10時間となります。動画視聴の時間については弊社管理ツール（LMS）にて時間管理を実施しますので、管理された時間を元に実績報告データを作成し提出いたします。

1訓練あたりのイメージ

PDF資料等による
予習
2時間

視聴履歴の提出が必要
動画視聴
6時間

ハンズオンや実践
復習
2時間

合計10時間





訓練実施結果報告書について



eラーニング訓練を受講後に
講座から学んだ事、今後の生かし方について
500文字程度でご記入いただく必要がございます。

原則訓練受講者ご本人にご記入いただき
手書きで署名いただく必要がございます。



様式第9-2号 (RS.4)

人材開発支援助成金（事業展開等リスティング支援コース） eラーニング訓練実施結果報告書

1 事業所の名称	株式会社〇〇〇〇	2 受講者氏名	〇〇 〇〇
3 訓練の実施期間	2023年10月1日 ~ 2023年10月31日 (1か月0日)		

(以下の実施結果報告は訓練の受講者本人が作成してください)

4 講座名	デジタル活用人材育成研修 Excelコース
5 内容（学んだこと、今後の活かし方）	Excelの機能を駆使して欲しいデータを欲しい形で取得したり、関数を使うことで手作業を減らし計算ミスをなくすることができるような状態になることを目指し学習しました。 eラーニングの初級編では、入力補助機能・四則演算・書式設定・テーブル・フラッシュフィル機能・グラフの作成方法・印刷設定・フィルタや表示の設定方法・入力規則やシート操作などについて学びました。 eラーニングの上級編では、検索と置換、区切り位置や重複の削除、条件つき書式、並べ替え、マクロの記録やピボットテーブル、日付・統計関数などについて学びました。 これまでExcelに特化した学習をしたことがなく、自分自身のスキルには自信がありませんでしたが、動画を視聴するだけではなく、実際に手を動かして課題に取り組み、実践的なスキルが身についたと感じています。 今回の講座のおかげで、Excelで欲しいデータを関数や機能を使って抽出できるようになりました。たくさんのごを学ばせていただきましたが、全ての内容を暗記できていないため、しっかり復習を行い、今後は今回学んだ内容を思い出しながら業務に取り組み、学びの定着を図りたいです。 そして、自社内の業務自動化や新規顧客価値創出のために貢献できるよう、また生産性を上げて業務を遂行することができるように努めて参ります。

※以下の内容に該当する場合はチェックしてください。

- 事業主命令により労働時間中に当該訓練を実施し、当該訓練を実施した時間中の賃金が、適正に支払われています。
- 当該訓練に係る費用（受講料や教科書代等）の一切を負担していません。

上記の内容に誤りがないことを証明します。

2023年 11月10日

訓練受講者の署名
(本人直筆の署名)

印刷し手書きでご署名を
お願いします

(事業主記載欄) ※以下の内容に該当する場合はチェックしてください。

- 2 欄の労働者の労働時間中に上記のとおり訓練を受けさせ、受講時間中の賃金を適正に支払っています。

上記の内容に誤りがないことを証明します。

2023年 11月10日

申請事業主の証明

代表者役職名
氏名 株式会社〇〇〇〇 代表取締役 〇〇〇〇

※本書のほか、4 欄に記載した講座を受講したことの証明として、修了証等及びLMS (Learning Management System.) 等による受講状況が確認できる書類を添付してください。



トレーニング計画



助成金を活用したリスティングコース（DX推進）

オンラインで受講いただくトレーニング以下の中からいずれかのコースを選択いただく予定。

コース紹介

トレーニングコース概要



DX講座 はじめの一歩

DXとはなにか、導入の成功事例と失敗事例、クラウドサービスの活用の仕方
コミュニケーションツールの活用などDX化の前にまずはITツールの活用方法を学ぶコース



業務効率化クラウドアプリ活用法

表計算ソフトをし計算式やvlookup関数やピポッドテーブルの活用などデータ集計
や分析などを行う為の関数などを学び集計結果などを簡単に抽出できるようにする。



Google Workplace 活用法

Googleスプレッドシート、GoogleカレンダーやGoogle Drive等のGoogleから提
供されているツールの活用方法や連携方法などを学び業務への活用を学ぶコース



Chat GPT ビジネス活用方法

資料作成時の文章作成や競合の調査、プログラム作成までChatGPTを活用して
できることや実際の入力するコマンドやプロンプトを学んでいくコース



トレーニング計画



助成金を活用したリスキリングコース（DX推進）

オンラインで受講いただくトレーニング以下の中からいずれかのコースを選択いただく予定。

トレーニングコース概要

1回目の受講におすすめ

DX講座 はじめの一步



Google Workplace 活用法



1回目の受講におすすめ

DX講座 はじめの一步



業務効率化クラウドアプリ活用法



1回目の受講におすすめ

2回目以降の受講におすすめ

Chat GPT ビジネス活用方法

